



**町田市資源循環型施設整備基本計画策定**

**検討委員会の目的**

地球規模での環境対策が進められる中、「循環型社会形成推進基本法」では廃棄物のうち有用なものを循環資源とし、循環的な利用、施策の有機的な連携への配慮を明記し促進するよう示しています。しかし町田市ごみ焼却施設は29年を経過し、老朽化により二酸化炭素等の削減が難しく、焼却熱の利用(熱利用・発電)率についても決して高効率とはいえません。また今後は適正な処理に問題を生じる恐れもあります。こうした背景のもとに、本委員会は一般廃棄物資源化計画を受け、環境負荷の低減を柱としたエネルギー回収施設、資源化施設等の建設へ向けての検討を行うことを目的としています。

**ソフト面**

**背景**

**ハード面**

地球環境保全の観点から、限られた資源を有効活用し、持続可能な社会を実現するために、資源循環型の生活スタイルの確立が必要。

- ・既存施設が築29年を経過し維持管理費が増加、旧式の施設のためエネルギー効率が悪い。
- ・一般廃棄物資源化基本計画の目標実現のためには、必要な資源化施設を整備する必要がある。

**検討期間・組織**

★検討期間 2011年～2013年  
原則リサイクル文化センターにて会議方式、必要に応じて先進施設の視察、地域説明会等

★検討組織 循環型施設整備検討委員会19名  
学識経験者・町内会自治会代表・既存施設周辺市民・公募市民・事業者

**検討内容**

★目標実現のために  
どのような施設が、どのような規模で、どこに必要なか、そのために必要な条件は何か？  
建設費用、周辺環境への配慮・方策についても市民協働の視点から検討

**検討体制・進め方**

★検討体制 検討委員会→2つの専門部会  
議論する内容が多岐にわたるためにテーマを分け、2つのグループで検討を進め、その結果を委員会にて調整していきます。

整備基本計画専門部会

整備対象施設の  
種類検討

施設の規模・  
処理方式の検討

各処理施設の  
施設計画

建設候補地選定専門部会

選定ルール  
の検討

候補地の抽出  
・評価

周辺環境への  
配慮・方策の検討

